

第 12 回脳脊髄術中モニタリング懇話会

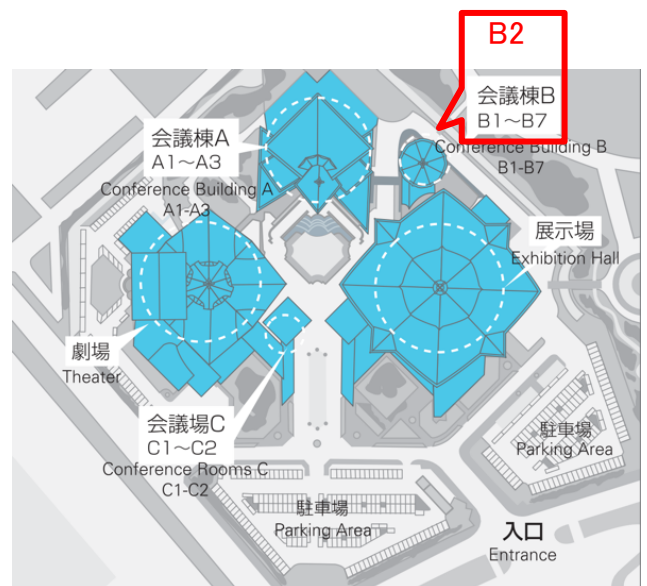
テーマ：「脊髄モニタリングの現状から未来へ」

日 時 2025 年 11 月 13 日 (木) 18:30-20:30
(第 55 回日本臨床神経生理学会学術大会 初日終了後)

場 所 第 55 回日本臨床神経生理学会学術大会 第 5 会場
(沖縄コンベンションセンター1F 会議場 B2)



懇話会会場
会議棟 B 1 階



当番世話人 琉球大学大学院医学研究科麻酔科学講座 教授 垣花 学

会 費 2,000 円

- ◆ 軽食を 80 食準備します。整理券の配布は行いません。先着順で受付し、なくなり次第終了とさせていただきます。
- ◆ 受付は **18 時 50 分で終了**します。
- ◆ モニタリング分野認定医・認定技術師には認定資格更新のために必要な認定点数 (10 点) が付与されます。懇話会参加の際の参加証が認定更新手続きの際に必要な参加証明となりますのでご注意ください。

代表世話人および事務局 関西医科大学整形外科 齋藤貴徳
関西医科大学整形外科内
日本脳脊髄術中モニタリング研究会事務局
Tel: 06-6992-1001, Fax: 06-6994-4015

主催：日本脳脊髄術中モニタリング研究会

第 12 回脳脊髄術中モニタリング懇話会の開催にあたって

ご 挨 拶

この度、第 12 回脳脊髄術中モニタリング懇話会の当番世話人を拝命いたしました琉球大学の垣花 学（かきのはな まなぶ）です。本懇話会は日本臨床神経生理学会学術大会のサテライトシンポジウムとして企画されており、今回も第 55 回日本臨床神経生理学会学術大会の期間中（2025 年 11 月 13 日～15 日）である 2025 年 11 月 13 日に開催させていただきます。

私は、1996 年から虚血性脊髄障害の研究をライフワークとしておりますが、特に虚血性脊髄障害が合併症である胸部下行あるいは胸腹部大動脈瘤手術における脊髄機能モニタリングについても 2001 年から経頭蓋的運動誘発電位（tc-MEP）モニタリングの臨床に従事してきました。当時から、tc-MEP モニタリングに対する各種麻酔薬の影響について研究を行い、プロポフォールを用いた全静脈麻酔法が最適な麻酔方法であると報告をしており、麻酔科医として脳脊髄術中モニタリングには非常に大きな関心を持っておりました。今回、第 12 回脳脊髄術中モニタリング懇話会当番世話人を拝命させていただいたことは、これまでの成果をご評価いただけたということで非常に嬉しくまた光栄に思っております。

今回の懇話会では、「脊髄モニタリングの現状から未来へ」というテーマを掲げ、3 名の演者をお願いしております。11 月の沖縄は台風もなく（昨今の異常気象では予測できませんが）非常に過ごしやすい季節になります。脳脊髄術中モニタリングに情熱を持った皆様にとってこの懇話会が有意義なものになるよう準備をしておりますので、多くの皆様のご参加ならびに活発な意見交換していただきますようお願い申し上げます。

第 12 回 脳脊髄術中モニタリング懇話会 当番世話人
琉球大学大学院医学研究科麻酔科学講座
教授 垣花 学

プログラム

1. 開会挨拶

琉球大学大学院医学研究科麻醉科学講座 垣花 学

2. 「脊髄モニタリングの現状から未来へ」 (各演題 25 分、質疑応答 5 分)

座長 : 国立循環器病研究センター 輸血管理部 麻醉科 吉谷 健司

(1) 整形外科での MEP モニタリング

安藤 宗治

関西医科大学附属病院 整形外科

(2) MEP 導出の工夫

宮林 知誉

奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部

(3) 脳脊髄術中モニタリングのその先～脊髄機能再生への挑戦～

神里 興太

琉球大学病院 手術部

3. 閉会挨拶

琉球大学大学院医学研究科麻醉科学講座 垣花 学